



守谷市議会議員

わたなべ 秀一

ひでかす

3期12年の
即戦力

私が目指すのは、30年後も 資産価値のある、まちづくり

市内外から求められる持続的な価値を創造し、
市民皆様の資産を次世代まで受け継ぐ政策を推進します。

これまで、多くの市民と対話してきたなかで、意外にも多かったのは「このままの守谷がいい」という意見でした。「このまま」について、詳しく聞いてみると、多くの方は人口と自然のバランスをあげます。それは、私も全く同意見です。

しかし「このまま」の守谷市では、いずれは高齢化が進み生産年齢人口の減少により税収が減少し財政が圧迫されます。何らかの対策が必要です。

私が理想的であると思う守谷市は、
おおむね7万人程度の人口と自然の
バランスです。

人口7万人に達した今、**守谷の財産である
緑と住んでいる土地の資産価値を守る**
持続可能な守谷市をつくるのが、
私の4年間の目標です。



これから4年間のアクション

求められるのは、茨城No.1のまちではなく 都心並みのバス交通の整備と TX沿線で選ばれる子育てと教育の環境があるまち

都心並みのシャトルバスの運行

先行モデルとして、すでに生活環境の基盤が整備されながらも、高齢化率が高い傾向にある「**みずき野地区**」や「**北守谷地区**」に**守谷駅を核としたシャトルバスの運行**を目指します。

この実現により、新たな子育て世代の定住をねらい、若い世代の定住人口が増え高齢化率の抑止と生産年齢人口が安定をはかります。また、不動産の流通も活性化することが期待できます。

子育て世代の定着のサイクルを重ねていくことで資産価値を安定させることができ、**老後の選択として家を売却しても、満足できる価格で取引ができるまちの実現**を目指します。



AIバスの導入検討！

※画像はイメージです

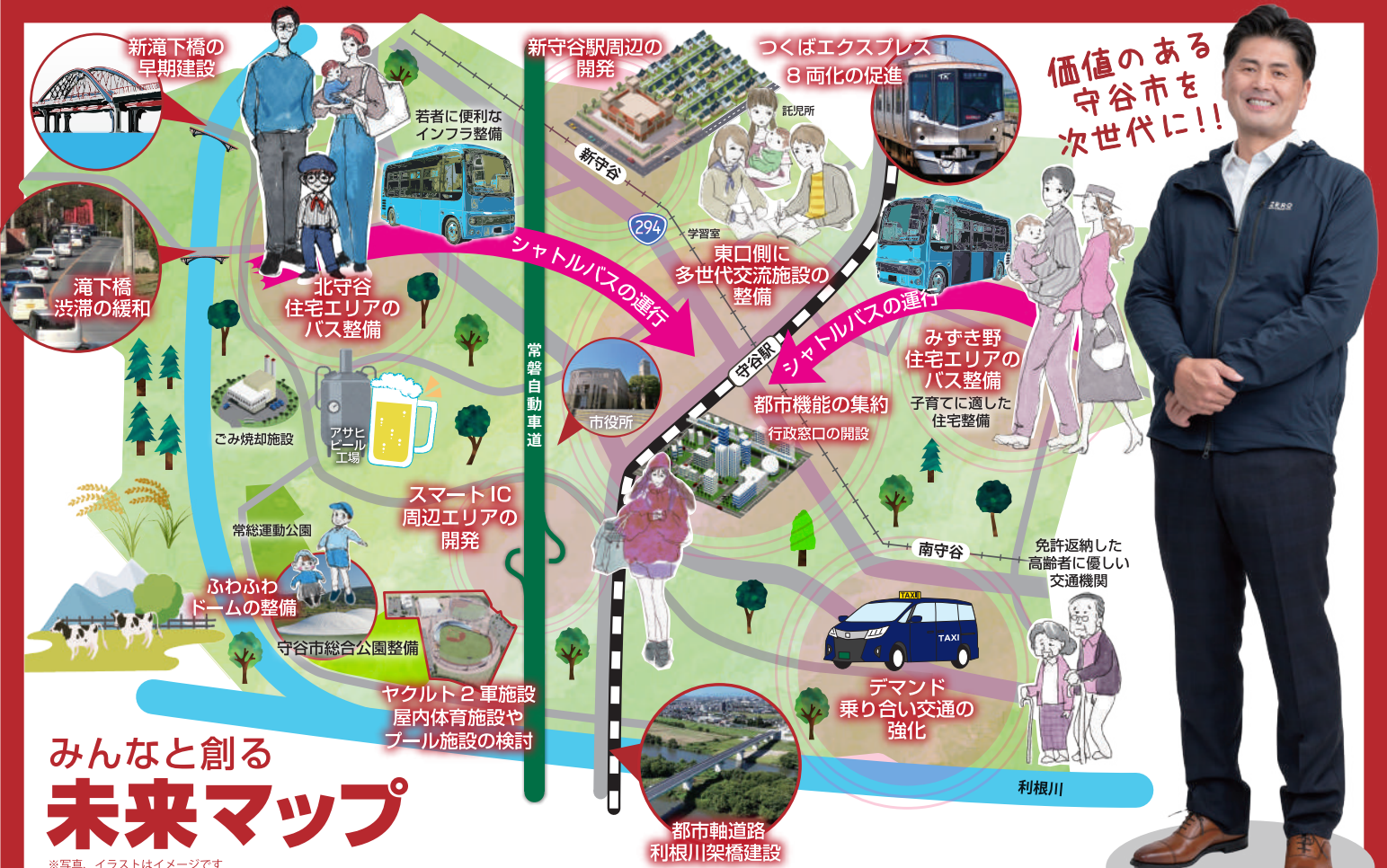
TX沿線で選ばれる子育てと教育のまち

まずは、オリジナルより他市をまねることも重要です。「子育てするなら」で有名になった流山市の躍進は目まぐるしいものがあります。代表的なもので保育ステーションなどがあります。効果的な事業に関してはチャレンジすることも大切です。

また現在、市内で子育て中の人口が多いエリアは、守谷駅周辺の中央、ひがし野、松並青葉、百合ヶ丘であります。特に守谷駅の東側には行政施設がない状況であります。

今後、**子育てママや学生からシニアまで多世代が集える場所づくり**（自習室などがある子ども達の居場所）の検討をスタートしてはどうかと考えます。





価値のある
守谷市を
次世代に!!

みんなと創る 未来マップ

※写真、イラストはイメージです

子育て・教育対策

- 守谷駅東口側に多世代交流施設の検討
- 黒内小学校の児童数を適正配置化。小学校再編に伴うスクールバスの導入および学区の見直しを検討
- 守谷市独自の通学定期券購入費の補助制度の導入や、私立高等学校等授業料支援補助制度の導入
- 子ども達に学校給食の食材費補助で美味しく栄養価のある給食の提供
- 塾に通えない子ども達の学びの格差解消をはかるための教育支援
- 公園や公共施設などに子ども達が遊べる「ふわふわドーム」の設置検討



住みよい街づくり

- 『みずき野』『北守谷』エリアにシャトルバスを運行し、若者世代の流入を推進
- 既存事業計画の促進
 - ・ 守谷市総合公園の整備
 - ・ 守谷SA スマートIC 周辺の開発
 - ・ 新守谷駅周辺の開発
- つくばエクスプレスの車両8両化と東京駅延伸の早期実現
- ごみの分別をこれ以上増やさないために、時代に適した常総広域のごみ焼却機の機種変更の検討
- 都市軸道路の利根川架橋と、滝下橋の渋滞緩和の早期実現
- 取手警察署と連携し、防犯に強いまちづくりと暴走バイクの騒音対策など治安対策の強化

アクティブシニアの応援

- AIバス自動運転化対応道路の整備とデマンド乗り合いタクシーの拡充
- スポーツによる健康の促進、屋内型の体育施設やプール施設の設置検討

チャレンジする行政

- 官民連携のまちづくり公社を設立し、ふるさと納税の寄付額100億円突破の実現と、将来に向けた事業への財源確保
- 守谷市商工会と連携し、法人や個人事業主のスタートアップ支援や、小規模企業の国の補助金事業の採択率向上の支援
- 市民生活総合支援アプリ「Morinfo (もりんふお)」を活用した地域通貨の運用推進

Profile

わたなべ秀一ってどんな人？

守谷市議会議員(3期目)

昭和47年1月8日(52歳) 守谷生まれ守谷育ち
明治大学 専門職大学院ガバナンス研究科 修了
趣味: 食べ歩き、DIY、アメリカンBBQ、筋トレ

がぶりメンチの生みの親

守谷市商工会商業部会の部長 守谷市のイベントでお馴染みがぶりメンチ。2011年、当時流行していたB級グルメでまちおこしを目的に「守谷将門がぶりメンチ」をプロデュースしました。コロナ後の現在は、いつでも購入できる店舗での展開を目指しています。



夢は守谷の子どものためのソーシャル・スタートアップ

地域活動

守谷ライオンズクラブ元会長、ひとり親世帯対象に**もくもく応援フードパントリーの配布**や、守谷市近隣**中学校バレーボール大会**や、小中学生を対象とした**守谷イングリッシュフォーラムを開催**するなどの奉仕活動を行っています。守谷市第二消防団元分団長、火災時の消火活動や地域の防災訓練のお手伝い、お祭りの警備など地域を守る活動をしています。



(株)ブリッチ 代表取締役

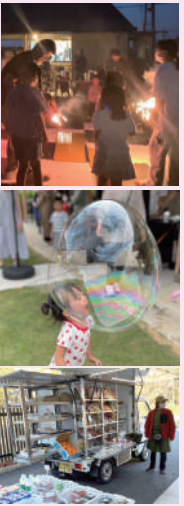
株式会社ブリッチは、守谷市を中心とした「しごと」「人」「企業」のご縁をつなぐために2020年に設立されました。職住近接の環境で、スキルを活かせる場を創り、地域の人財活用、雇用促進を支援します。

ブリッチハウスの運営

地域でお店を始めたい事業者やフリーランスの方のスタートアップ支援事業として、チャレンジする場所、シェアキッチン/シェアスペースを運営しています。シェアスペースでは、ベビーヨガ教室等が開催されており、多くの親子のコミュニティの場となっています。また、子ども達の遊び場づくりとして、花火会やプールの開設、BBQ、餅つき、蕎麦打ち会など定期的に開催しています。

移動スーパー (ニコパ) の運営

「自動車免許返納してからは、行く店に限られてしまう」「足が悪いので、近くの買い物でも大変、重いものは我慢しちゃう」おじいちゃん、おばあちゃんのそんな声を耳にして...「地域の暮らしを豊かにしたい」という想いからスタートした移動スーパーです。地域の女性を中心に運営しており、移動販売による買物支援を通じて、地域多世代ネットワークづくりに一役買っています。



わたなべ 秀一 後援会

住所: 〒302-0109 守谷市本町 260 電話: 090-3234-2809 FAX: 0297-48-1487 メール: nabesta1211@yahoo.co.jp

討議資料

